

February
2024

Okuwaizumi

奥会津のすごい！が見つかる情報誌

つなぐ奥会津

奥会津7町村



温泉グルメ P5

只見町の博物館にGO! P6

奥会津の春イベント P7



特集

意外と知らない!? 奥会津のダム



金山町

Honna-dam

本名ダム

特集

三上 颯太さん

- 青森県出身
- 東北電力株式会社
只見川ダム管理所に所属



目視が難しい箇所
の巡視には
ドローンが活躍します！

意外と知らない!? 奥会津のダム

つなぐ奥会津



土木遺産にも選ばれた本名ダムと
田子倉ダムで働く方々に
お話をうかがいました。

小

学4年生の頃、東日本大震災で街が停電した時に電気の大切さを実感し、電力会社の方々が復旧作業に取り組む姿を見て、電気に関わる仕事に興味を持ちました。

現在は、水力発電を行うために造られた本名ダムの維持管理業務に従事しています。異状がないか日々巡視しており、目視が難しい場所はドローンを操縦して点検することもあります。設備に影響を与える自然災害などはいつ起こるか分からないので、管理所では所員が交替で常駐し、365日24時間体制でダムを管理します。荒天時の長時間のダム操作は集中力と体力を要する大変な仕事ですが、地域の生活を支える大切な業務に携われることにやりがいを感じています。入社5年目で未熟な点もまだまだあると思うので、ダム管理の技能をもっともつと身につけて、早く一人前になれるよう頑張っていきたいです。

Tagokura-dam ⚡ 只見町
田子倉ダム

栗崎 夏代子さん

- 東京都出身
- 電源開発株式会社
田子倉電力所 所長

只見線の前身となった
資材運搬鉄道の名残が敷地内に！

つなぐ奥会津



私

は、2023年4月に田子倉電力所に赴任しました。奥会津は自然豊かで、季節の移ろいの美しさが特に気に入っています。また、地元の方から声をかけていただくこともあり、人の温かさも奥会津の魅力だなと感じています。

私の普段の仕事は、事務所で工事や設備の書類チェックを行うなど管理業務が中心ですが、イベント時は見学者に設備や事業内容について説明する広報活動にも従事します。例えば田子倉ダム・発電所では、昭和期の建設当時、資材を運ぶ専用鉄道を敷いたのですが、ダム完成後は国鉄に移管され、只見線の前身となりました。田子倉発電所の敷地内には鉄道の軌道跡やレールの一部が残っており、只見線が好きな見学者はこうした話にも喜んでくださいます。赴任してもうすぐ1年。より伝わる情報発信を目指して、これからも取り組んでいきます。

インタビューの
動画を見る



歳時記の郷奥会津
YouTube

土木遺産 只見川 ダム施設群 に注目!



2023年9月、公益社団法人 土木学会が選奨する土木遺産に「只見川ダム施設群」が認定されました。ここでは、「只見川ダム施設群」を構成する9つのダムをご紹介します。

土木遺産とは?

「土木遺産」は、歴史的に価値のある土木構造物を再評価し、保存していく一助になればと、公益社団法人 土木学会が2000年度に創設した認定制度です。2021年には「只見線鉄道施設群」も土木遺産に選ばれています。



なぜ只見川ダム施設群が選ばれたの?

多数ある只見川水系のダムの中から、「只見川ダム施設群」には9基が選奨されました。いずれのダムも完成から50年以上が経っており、豪雪地帯の水資源や地形を巧みに利用して開発が行われた点、ダムや電源開発などの河川史や地域資産として貴重な土木遺産群である点などが評価されました。

1 奥只見ダム



所在地 新潟県魚沼市・福島県南会津郡檜枝岐村
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1961年（昭和36年）
管理者 電源開発株式会社

2 大鳥ダム



所在地 福島県南会津郡只見町
型式 セミアーチダム
完成年 1963年（昭和38年）
管理者 電源開発株式会社

3 田子倉ダム



所在地 福島県南会津郡只見町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1959年（昭和34年）
管理者 電源開発株式会社

4 滝ダム



所在地 福島県大沼郡金山町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1961年（昭和36年）
管理者 電源開発株式会社

5 本名ダム



所在地 福島県大沼郡金山町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1954年（昭和29年）
管理者 東北電力株式会社

6 上田ダム



所在地 福島県大沼郡金山町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1954年（昭和29年）
管理者 東北電力株式会社

7 宮下ダム



所在地 福島県大沼郡三島町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1946年（昭和21年）
管理者 東北電力株式会社

8 柳津ダム



所在地 福島県河沼郡柳津町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1953年（昭和28年）
管理者 東北電力株式会社

9 片門ダム

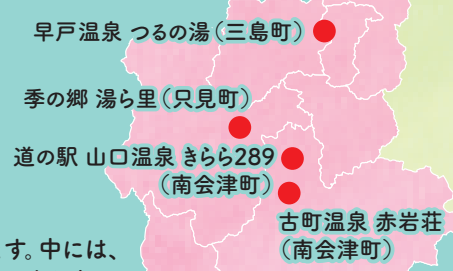


所在地 福島県河沼郡会津坂下町
型式 重力式コンクリートダム
完成年 1953年（昭和28年）
管理者 東北電力株式会社



雪見風呂のおとのお楽しみ♪

温泉グルメ



豪雪地帯の奥会津には、雪景色を眺めながら浸かれる温泉が点在しています。中には、飲食施設（食事だけの利用も可）が併設された温泉もあり、入浴後に自慢の味を楽しむ人も多いのだとか。今回は、雪見風呂も食事も堪能できるスポットのおすすめグルメをご紹介します。※掲載の情報は、2024年2月時点のものです。



只見町 **とんかつ定食** 1,435円(税込)
とき さと ゆり **季の郷 湯ら里**

1996年のオープン以来、只見町の主要なイベント会場としても親しまれる温泉宿泊施設。レストランでは近隣地域で生産された食材を積極的に使用しています。一番人気の「とんかつ定食」は、上質な越後もち豚を低温調理で仕上げた逸品。カツを海苔で挟み、卵黄とポン酢の特製ダレでいただくのが湯ら里流です！

〒福島県南会津郡只見町長浜字上平50
☎ 日帰り温泉：受付11:00～20:00、入浴21:00まで
レストランゆきんこ：11:30～15:00(LO14:00)、18:00～21:00(LO20:00)
☎ 日帰り温泉：中学生以上 700円、小学生 250円、未就学児無料
☎ TEL 0241-84-2888



三島町 **からしみそラーメン** 750円(税込)
はやと **早戸温泉 つるの湯**

1,200年もの昔、この地に湧く湯で1羽の鶴が足の傷を癒やしたと伝わることから「つるの湯」と名付けられた温泉施設。只見川の絶景を眺めながら、源泉かけ流しの薬湯を堪能できます。併設の「お食事処つるや」では、中華味噌や豆板醤、野菜スープをブレンドした「からしみそラーメン」が地元住民に人気です！

〒福島県大沼郡三島町早戸字湯ノ平888
☎ 日帰り温泉：10:00～20:00(最終受付19:30)
お食事処つるや：11:00～14:00、16:00～18:30(LO18:00)
☎ お食事処つるやは水曜・木曜休み
☎ 日帰り温泉(3時間)：中学生以上 600円、小学生 400円(17:00以降は中学生以上 400円、小学生 200円)、未就学児無料
☎ TEL 0241-52-3324



南会津町 **坦々麺** 850円(税込)
ふるまち あかいわそう **古町温泉 赤岩荘**

50年以上にわたって地元で愛される、源泉かけ流しの日帰り温泉施設。鉄分と塩分が多く含まれた湯は赤みを帯びており、体を芯まで温めてくれます。食事のおすすめメニューは、赤いスープの「坦々麺」。手作りの肉味噌を使い、辛さを控えめに仕上げることで大人も子どもも食べやすい一杯となっています。

〒福島県南会津郡南会津町古町字太子堂186-2
☎ 入浴 9:30～20:00、食事 11:00～18:00
☎ 水曜
☎ 中学生以上 600円、小学生 100円、未就学児無料
☎ TEL 0241-76-2833



南会津町 **トマトソフトクリーム** 400円(税込)
南郷トマトロールケーキ 1,700円(税込)
道の駅 山口温泉 きらら289

日帰り温泉併設の道の駅。レストランでは、町の特産品である「南郷トマト」のジュースを使ったソフトクリームが人気で、季節を問わず入浴後に買い求める方が多いのだそう。おみやげには、南郷トマトのピューレをクリームにたっぷり使用した当物産館限定商品「南郷トマトロールケーキ」をどうぞ！

〒福島県南会津郡南会津町山口字橋尻1
☎ 温泉：10:30～19:00、月曜10:30～13:30、火曜12:00～19:00、土曜10:30～20:00、最終受付は30分前まで
レストラン：11:00～14:00(土曜はLO19:00、日曜はLO18:00)
物産館：9:00～19:00(月曜16:00、土曜20:00まで)
☎ 中学生以上 700円、小学生 300円、未就学児無料
☎ TEL 0241-71-1289



つなぐ奥会津



CJ Monmo コラボ! シティ情報ふくしま 只見町の博物館にGO!

ダイジェスト版

ただみ・モノとくらしのミュージアム

所 福島県南会津郡只見町大倉字窪田30
開 9:30~17:00 (最終入館16:30)
休 月曜 (祝日の場合は開館し翌平日休み)、12/29~1/3
入館無料
☎ TEL 0241-86-2175

主な収蔵資料

- 国指定重要有形民俗文化財
「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」 2,333点
- 県指定史跡「窪田遺跡」から出土した土偶・首飾り・土器など
- 只見町出身の文学者・書家にまつわる資料



2022年にオープン!



この記事を書いたのは…

CJ Monmo 編集部
ささちゃん



もうすぐ入社2年目を迎える新人編集者。寝ることとおいしいごはんを食べることが趣味。今回は「奥会津のさらなる魅力に出会いたい! 歴史や文化にも触れてみたい!」との思いから、通年で開館しているお出かけスポットを検索し、只見町へ出発しました。

福島県のタウン情報誌「月刊CJ Monmo(シー Джей・モンモ)」の若手スタッフが奥会津にお出かけ! 今回は只見町の「ただみ・モノとくらしのミュージアム」を訪れました。

MUSEUM

町民が整理・記録に参加!

実は只見町は「民具の聖地」

これは、口が空を向いているので「ソラックチ」と名付けられた運搬道具です



民具収蔵庫

受付に申し出ると、民具収蔵庫を見学することもできます。

おもしろいですね!



展示ホール

地域の人々が生活の中で知恵と工夫を凝らして編み出し、使用してきた多種多様な道具「民具(みんぐ)」などを展示しています。

成長が早い「麻の葉」の柄は子孫繁栄などの願いが込められているんだとか



もっと見る?

「只見町の博物館にGO!」フルバージョンはCJ Monmo Webをご覧ください。



刺し子(刺しゅうの一種)が施された絆纏(はんてん)を、学芸員の原永さんに見せていただきました。

ギャラリー



只見町は「民具の聖地」。一般的には専門家が行う民具の整理・記録を、町民の手で行う「只見方式」が活かされた地として知られています。

奥会津の春イベント

2024年3～4月

掲載の情報は2024年2月時点のものです。変更となる場合がございますので、お出かけの際はお問い合わせ先にご確認ください。

柳津町



やないづ 手づくり市

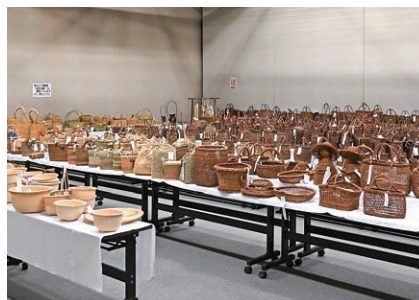
とき 3月24日(日)、4月28日(日)
10:00～15:00

ところ 赤べこ通り商店街 無料休憩所
(福島県河沼郡柳津町柳津字寺家町甲)

ハンドメイド作家の皆さんとの会話も楽しめる、アットホームな雰囲気が魅力の小さなマルシェを毎月第4日曜に開催！木工雑貨やアクセサリーなどの手工芸品から、ハンドドリップコーヒーなどのグルメまで、会津を中心としたさまざまな手づくりの商品に出会えます。

図 木工房 MEGURO
TEL 090-5234-2314

三島町



第23回全国 編み組工芸品展

とき 3月16日(土) 9:30～16:00
3月17日(日) 9:00～15:00

ところ 三島町交流センター 山びこ
(福島県大沼郡三島町名入字諏訪ノ上418)

「編み組細工」は蔓(つる)や樹皮などの自然素材で編む工芸品です。工芸品展では、山ブドウやマタタビ、アケビなどを使用して、三島町をはじめ全国の方々が作ったカゴやバッグを展示・販売します。また、ものづくり名人による制作実演も実施します。

図 奥会津三島編組品振興協議会 事務局
(三島町生活工芸館内) TEL 0241-48-5502

金山町



「沼沢湖」周辺施設 再オープン

とき 4月27日(土)～

ところ 沼沢湖周辺
(福島県大沼郡金山町大栗山など)

金山町のシンボル「沼沢湖」は、火山の噴火によって約5600年前にできた、山頂のカルデラ湖。周辺には公園やキャンプ場、妖精美術館などがあり、4月27日に冬季休業を終えて再オープンします。妖精美術館では企画展が開催されます。

図 金山町役場 商工観光課
TEL 0241-54-5327

昭和村



「奥会津昭和の森 キャンプ場」再オープン

とき 4月下旬予定

ところ 奥会津 昭和の森キャンプ場
(福島県大沼郡昭和村大芦字小矢ノ原4893)

広大な敷地内に、自然豊かな湿原や遊歩道、バンガローやケビン、BBQサイトなどを備えたアウトドアリゾート「奥会津 昭和の森キャンプ場」が、4月下旬に冬季休業を終えて再オープンします。街の喧騒とは無縁の世界をご堪能ください。

図 昭和村役場 産業建設課 観光交流係
TEL 0241-57-2124

ただでん通信

只見川電源流域振興協議会（通称：ただでん）では、さまざまな事業を実施しています。主催・共催事業の最新情報はホームページで随時公開しています。ぜひご参加ください。

2023年度に実施した主な取り組み

奥会津クラフトマルシェ

- 開催日** 第5回 2023年4月29日・30日（会津若松市）
第6回 2023年12月9日・10日（栃木県那須塩原市）



地域産品販売連携体制構築事業として定期的に開催している手仕事製品の販売イベント。2023年度最初となる第5回のマルシェは、会津若松市のスマートシティAiCT交流棟にて、あゆむCaféの協力のもと開催しました。第6回の様子はイベントレポをご覧ください。

第6回イベントレポ



奥会津フェス2023

- 開催日** 2023年9月23日
会場 奥会津ただみの森キャンプ場（只見町）



「日本一秘境な音楽フェス」と称して開催。地域にゆかりのあるシンガーソングライター・大竹涼華さんをはじめ、さまざまなアーティストがライブパフォーマンスを披露しました。「奥会津いいものいっぱいマルシェ」も同時開催し、地元のグルメも集結。地域の工芸品に出会える販売・体験エリアや、アクティビティコーナーも設けました。

奥会津カーシェアリング実証事業

- 実施期間** 2023年7月1日～12月17日



二次交通の体系拡充事業として、5カ所（会津柳津駅・会津宮下駅・会津川口駅・只見駅・早戸駅の近隣）に車両を配備し、只見線の駅からの周遊観光などに手軽に利用できるサービスを導入しました。スマホアプリを通じて車の予約から解錠・施錠まで行うことができます。

詳しくは体験レポをご覧ください。

体験レポ



奥会津体験博覧会「せど森の宴」

- 開催期間** 2023年10月1日～2024年2月末頃



奥会津地域の人々が主役となり、身の回りにある奥会津ならではの体験プログラムを提供するイベントを、昨年に引き続き開催しました。アウトドアアクティビティからハンドメイドワークショップまで、30以上の幅広いプログラムが用意され、普段は見えにくい「奥会津だからこそ良さ」を発信しました。

奥会津文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」

- 開催期間** 2023年7月22日～10月・11月（終了日は会場ごとに異なる）



奥会津地域に眠る縄文文化の記憶をテーマに、7町村の各会場で企画展を開催しました。講演会やバックヤードツアーなどの関連企画を連動して実施したほか、各地の土器や石器などをまとめた図録も発行。たくさんの方の来場者に縄文の魅力を感じていただくことができました。

あなたの声を
お聞かせください！

読者アンケート

本誌や奥会津についてのアンケートを実施しております。右のアンケートフォームからご回答ください。



アンケートはこちら

回答〆切：2024年4月30日(火)

情報誌「つなぐ奥会津」のご意見・ご感想をお待ちしています！

郵便 | 〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933番地
(奥会津振興センター内) 只見川電源流域振興協議会 宛て

Eメール | tdrsk@okuaizu.net



自然の中に
暮らすいとなみ、
100年先のみらいへ。



只見川電源流域振興協議会

〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933番地
東北電力奥会津水力館「みお里」奥会津振興センター内
TEL 0241-42-7125 FAX 0241-42-7127
Eメール tdrsk@okuaizu.net

※本誌は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。

奥会津とは？

福島県の奥の奥——。深い山々と美しい川に囲まれた会津地方の南部に位置する7町村は、「奥会津」と呼ばれています。冬はたくさんの雪が降り積もる豪雪地帯であり、各地域には奥会津の風土に育まれた豊かな文化が継承されています。